

第10回 日野市 ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 議事録

日時：平成24年6月21日（木）10：00～10：40

場所：市役所504会議室

出席者（順不同・敬称略）

会長： 竹宮 健司 首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース 教授
副会長： 小根山裕之 首都大学東京 都市環境学部 都市基盤環境コース准教授
（欠席）
委員 有山 一博 日野市聴覚障害者協会
（欠席）
佐々木信行 ピープルファースト東京
（欠席） 田辺 邦夫 日野市視覚障害者協会
西久保修治 日野市老人クラブ連合会
早川 裕子 市民サポートセンター日野
藤井 恵 公募市民
（欠席） 藤田 博文 自立生活センター日野
（代理） 大川 稔
井上 敏夫 日野市商工会
大場 主雄 日野市社会福祉協議会
島 一喜 独立行政法人 都市再生機構

日野市

日野市 大坪 冬彦 まちづくり部長
萩原 弘次 企画部長
川久保紀子 健康福祉部長

庁内検討部会 反町 康子 総務部 財産管理課
〃 高橋 登 健康福祉部 福祉政策課
〃 中村 光 環境共生部 緑と清流課
〃 佐藤 勝美 まちづくり部 区画整理課
〃 清水 孝 まちづくり部 建築指導課
〃 鈴木 太郎 まちづくり部 道路課
〃 榊原 信行 教育部 庶務課
事務局 香川 博志 まちづくり部 都市計画課 課長
浅川 浩二 まちづくり部 都市計画課 課長補佐
大野 高宏 まちづくり部 都市計画課 交通政策係長
谷口 順香 まちづくり部 都市計画課 交通政策係
書記 尾座元俊二 株式会社 国際開発コンサルタンツ
中村 真弓 株式会社 国際開発コンサルタンツ

第10回 日野市 ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 次 第

1. 諮問事項について

- ・【諮問第5号】日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進条例第8条に規定する推進計画の策定について

2. 意見募集の概要及び、市の考え方

3. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画

4. 審議・意見交換

5. 今後のスケジュール

【配布資料】

- 資料－1 次第
- 資料－2 意見募集結果及び市の考え方
- 資料－3 (1) 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画
- 資料－3 (2) 推進計画の概要版
- 資料－4 名簿
- 資料－5 第9回協議会議事録
- 資料－6 今後の予定と課題

1. 諮問事項について

事務局：(資料説明)

2. 意見募集の概要及び、市の考え方

事務局：(資料－2の説明)

会長：日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画（素案）に対する意見募集結果と、結果を踏まえた市の考え方について意見を頂きます。

(意見なし)

意見がないようですので、次に進みます。

3. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画

事務局：(資料－3で、意見募集結果を踏まえた修正内容の説明)

計画書 63 頁の「生活関連経路の移動等円滑化基準」の説明の下図で、歩道において「やむを得ず排水施設を設置する場合は、グレーチングの網目を小さくすることや滑りにくさ等に配慮」を追加しました。

事務局：(資料－3で、意見募集結果以外の修正内容の説明)

① 報告書の文章にふりがなを添付

パブリックコメント以外の修正点としては、報告書の文章にふりがなを付けました。市の広報では、常用漢字以外にふりがなを付けていますので、同じ考え方としました。具体的には、4 頁の膀胱（ぼうこう）などです。

② ワークショップの実施に関する文章を追加

ワークショップを行った新たな 3 つの重点整備地区においては、47 頁「(5) 南平駅周辺地区 (47ha)」、53 頁「(6) 平山城址公園駅周辺地区 (22ha)」、59 頁「(7) 日野市役所周辺地区 (52ha)」の下に「※当地区は、重点的なまち歩きを実施し、そこで出された意見をとりまとめています。」という文章を追加しました。

③ エレベーター設置上の配慮事項を追加

208 頁の下段に「⑧ エレベーターの大きさ・形状・ボタンの設置などに配慮する」を追加しました。

④ 工事中の安全性確保を追加

209 頁の下段に「⑩ 工事中の安全性を確保する」を追加しました。

⑤ 推進協議会委員名簿を追加

218 頁に「日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 委員及び市職員名簿」を追加しました。

4. 審議・意見交換

会長：意見を頂きます。

委員：よくできた報告書だと思う。東京都の第8期のまちづくり計画では、平時から安心・安全のまちづくりを進め、高齢者や障害者への情報提供を行うものとしています。また、トイレは半径500m以内に1箇所設置するものとしています。公園にはだれでもトイレを設置する一方で、コンビニエンスストアではトイレに車いすが入らないことが指摘されています。自然災害に備えて、防災関連の対策が必要としており、横断的に福祉のまちづくりを進めることとしています。地域防災、帰宅困難など6つのテーマを掲げています。

事務局：東京都の計画を受けて、日野市でも防災計画を検討する予定としています。

委員：意見としてですがハードとソフトの両面を盛り込んだ計画にしていくことが重要です。また、避難場所等を知らない人も多いと思います。

会長：平時からの取組が大切というご意見ですね。本計画では3回のワークショップを実施し、その内容を取り入れてあります。その他に意見はありますか？

委員：報告書の中にはハンプなどカタカナで表現され、内容が分かりにくいものがあります。巻末か別途に用語の説明をして頂けると分かりやすいと思います。

事務局：以前の協議会の資料では、ハンプなどは挿絵を入れて説明してあったので、検討します。

会長：他に意見はありますか？

(意見なし)

会長：意見がないようですね。

それではカタカナ表現をより分かりやすく説明する工夫をお願いします。

また、今回はパブリックコメントを実施し受け付けた意見を、この推進計画に反映したものになっています。これまで1年以上に渡って推進計画について現地点検やワークショップ、協議会での議論を重ねてきました。特に意見もないようなので、今回をもって推進計画の決定とします。

それでは、事務局は今後のスケジュールの説明をお願いします。

5. 今後のスケジュール

事務局：(資料-6で、今後のスケジュールを説明)

① 今後のスケジュール (予定)

平成24年度に特定事業計画を策定し、平成25年度と26年度は進行管理を行います。平成27年度にUDまちづくり白書を見直し、平成28年度に第二次バリアフリ

一基本構想の見直し、平成 29 年度に特定事業計画を策定し、平成 30 年度は進行管理を行います。平成 31 年度にUDまちづくり白書 1 号の見直し、平成 32 年度にUD推進計画の見直しを行う予定です。

② 今後の検討課題

報告書 211 頁に示すように、優良事例を収集し、協議会による表彰を進めて行きます。表彰された事業者を市が発信することで、事業者のバリアフリー整備の動機付けを図っていきます。また、バリアフリー整備に対する各機関の補助金の情報を収集し、それを民間事業者に発信します。将来的には市の補助制度を検討します。

会長：このことについて何か質問はありますか。

質問等がないようですので、これにて第 10 回日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会を終わります。お忙しいところ有難うございました。

以 上